2
February 2018
No.740

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（常務理事　八木 義博）…… 3
- 理事会報告 …… 4
- 郡市会報告 …… 6
  （荒尾市、荒尾市・玉名郡市、玉名郡市、人吉市）
- リレー投稿⑭ …… 8
- 訃報 …… 9
- 新入会員 …… 9
- 会務報告 ……10

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

今年は全国各地で大雪ですね。
県内各地の雪景色をお伝えします。
左上から
阿蘇市一の宮町の林道（U先生）
南阿蘇村から見た阿蘇山（T先生）
豊肥本線も雪化粧（U先生）
左下から
天草市も積雪（N先生）
古閑の滝も凍ってしまいました（U先生）
美里町の3333段を登っても子供は元気（N先生）
（T・K）

継続可能な県歯会運営のために

常務理事　八　木　義　博

昨年８月より会長からの諮問を受け、財務検討臨時委員会において将来予測される会費収入減少等への対応について検討がなされています。

近年、県歯会収入の主体といえる会費収入（均等割と収入割の合計）は年間約１億１千数百万円で推移しています。有難いことに以前の予測より新入会員数が多いため、減少することなく何とか踏み止まっています。これは各郡市歯会のご努力や県歯会の入会促進対応、入会金減額等の効果と思われます。また、支出に関しては現執行部が将来を見据え取り組んでいる各種連携事業を初めとして事業規模は確実に拡大して来ているにも拘らず、若干減少傾向にあります。これも以前より取り組んでいる様々な支出削減の効果が出ているようです。もっともこれには近年急速に拡大している補助金、委託金等（平成28年度の総額は２千８百万円余り）の恩恵も大きく、将来的に継続して期待するのは難しいものです。

現行の第１種会員の年会費は均等割が10万円、収入割が保険診療収入の2.1/1000（上限４千万円）となっており、さらに入会30年以上で70歳以上に達すると終身会員となり、均等割が１万円（収入割は80歳まで継続、以後免除）になります。平成28年度の終身会員数の正会員に占める割合は14.4％ですが、現在の新入会員数を維持すると仮定しても、今後急激に増加し36年には25％程度に達するのではないかと予測されています。当然、会費収入の落ち込みも著しく、減少額は1千万円以上になりそうです。

このような会費収入減少の予測は会計規模がはるかに大きい日歯の方がより深刻であったようで、ご承知のように日歯は平成25年度に終身会員の要件を満75歳以上かつ35年以上在籍と規則変更し、現在経過措置期間です（完了は33年度）。また九州他県においても４県歯会は75歳以上、35年在籍に変更し（経過措置期間中を含む）、他の３県歯会は検討中のようです。

今後臨時委員会においてさらなる検討の後、最終的に答申を出していただき、それを踏まえ執行部で規則変更案をまとめ代議員会に議案として上程することになります。何れにせよ会員の皆様にとって痛みを伴う決断になることは避けられそうにありません。

また近年、終身会員となる前に疾病等の理由でなく（疾病等の理由であれば会費減免・免除あり）閉院される会員の方がおられます。仮に終身会員の年齢が引き上げられることになれば、そのような方への措置も検討する必要があります。

県歯会（もちろん郡市歯会も）が行っている様々な活動は会員のみならず全ての県民の方々の幸福に直結していると確信します。若い世代の会員の先生方、そして今後入会するであろう後輩達が将来にわたり安定した会務運営を継続できますよう、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

理事会報告

先進のモデル事業を熊本で

― 第８回理事会 ―

12月28日（木）午後５時より県歯会館において、浦田会長他全役員の出席のもと開催された。

１．開会：渡辺副会長
２．挨拶：浦田会長

今年も１年間、大変お世話になりました。本会創立110周年記念式典、むし歯予防全国大会などの一大行事を無事執り行うことが出来ました。また、熊本地震への対応が２年目に入りましたが、まだまだ道半ばでありますので、来年は会員の先生方の復旧復興がさらに進むよう祈念しております。

懸案でありました医療・介護・障害福祉分野の報酬改定率が決定しました。医療の本体＋0.55％のうち、歯科が＋0.69％、介護が＋0.54％、障害福祉が＋0.47％であります。歯科は、前回の改定より微かに増え、財源が207億円となっております。まだまだ厳しい状況ではありますが、プラス改定であったことは評価できると考えております。なお、厚労省の概算要求では歯科関係予算は、前年度比で約３倍の額でしたが、残念ながら満額ではなく、新規事業が削減され、それでも２倍近くでした。これに伴い、歯科が対応すべき事業が増えますが、先進のモデル事業を是非本県で行いたいという思いがありますので、その際は、役員の皆様のお力添えをお願い致します。こうして、歯科界に漸く追い風が吹いてきたところですが、決して慢心せず、この良い流れに乗れるように会務に取り組んで参りたいと思います。ガンジーの言葉に「ゴールへ到達しようとの試みにこそ、栄光はある」という格言があります。成否は別にして、ゴールへ到達しようという信念が無ければ栄光は有り得えないということだと思います。この言葉を胸に、来年も栄光に向かって試み続ける所存ですので、役員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

３．議長選出：浦田会長
４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長

５．平成29年度会務報告：
（自：11月17日～至：12月25日）

本会総務：理事会、常務理事会、財務検討臨時委員会、選挙管理委員会
学　　術：都道府県学術担当理事連絡協議会
社会保険：保険個別指導
地域保健：生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会
医療対策：医療対策講演会、医療相談・苦情事例報告
センター・介護：“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース、多職種連携研修会
総務・医療連携：回復期病診連携研修会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員
- 故　澤田 稔　会員（終身／八代）88歳　11月26日ご逝去
- 故　武久 省二　会員（終身／熊本市）91歳　12月７日ご逝去

２．会員への「学院・センター脇通路閉鎖」の周知
熊本地震で損傷した学院施設の外壁工事に伴い、工事期間中は口腔保健センター脇の通路が通行できなくなる旨の文書を、１月の定期発送物に同封して会員に通知する。

３．県知事・熊本市長への新年挨拶
１月４日（木）の新年挨拶廻りの予定について報告がなされた。

４．毎日新聞の記事〔医療機器の使い回し〕
厚労省が、歯を削る医療機器を患者ごとに交換せずに使い回している歯科診療所に対して、来年４月の診療報酬改定から初診料や再診料を下げる方針であることの記事が掲載された。

5．電力会社変更後の電気料金
今年４月より九州電力が電気料金を値上げしたことに伴い、７月よりイーレックスに契約を変更した結果、電気料金が１割程度削減されたことについて報告がなされた。

6．中小企業グループ施設等復旧整備事業に係る交付決定状況
11月末日時点で、グループ補助金交付申請を行った構成員のうち、約83%が交付決定された。

7．平成29年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究」におけるアンケート調査
主に本会役員・常任委員会委員15人に、アンケート調査への協力依頼を行う。

8．県学校保健会への協力寄付金
今年度は、178人の会員より、442口・132万６千円の寄付があった。

9．事業実施報告書
●10月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

10．歯周病セルフチェック票の使用依頼
山口大学医学部附属病院産科婦人科に来院する妊婦に対し、本県の歯周病セルフチェック票を使用しデータを採るための使用許可依頼について承認した。

11．11月末会計現況

7．連絡事項：

1．１月行事予定

2．平成30年度年間行事

8．承認事項：

1．新入会員の承認〔承認〕
吉永　義優（第２種／下益城郡）の入会を承認した。
※29年度入会状況（12月末現在）：第１種・12人、第２種・７人、第３種・７人、第４種・２医療機関

2．平成29年度会員表彰〔承認〕
表彰規程に基づき、70才以上の会員で、会員在籍年数が30年以上の21人に対して感謝状を授与することを承認した。なお、授与式は３月24日（土）の臨時代議員会において行う。

3．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕
●県社会福祉審議会委員／県医療政策課
小島　博文　副会長　任期：平成30年１月１日～平成32年12月31日

4．平成29年九州北部豪雨歯科支援報告会〔承認〕
本会は共催とし、報告会開催に伴う会館使用料は無料とすることとした。

5．平成29年指導歯科医講習会実行委員会への参加依頼〔承認〕
実行委員会委員として、学術委員会の豊田委員を推薦することとした。

6．平成29年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練への参加依頼〔承認〕
本会より小島・伊藤副会長、警察歯科医会より神戸・矢毛石会員が参加することとした。

9．議題：

1．熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正案〔承認〕
一部改正案について、原案どおり承認した。

2．平成29年度第２回臨時代議員会議事の追加〔承認〕
第６号議案「熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件」の追加について、承認した。

3．平成29年度第２回各郡市会長・専務理事連絡会議の報告及び協議〔承認〕
報告及び協議について、原案どおり承認した。

4．平成29年度第２回九地連協議会の出席者及び提出協議題〔承認〕
出席者及び協議題は２題提出することを承認した。

5．平成29年度第26回中規模県歯科医師会連合会の提出協議題〔承認〕
協議題は１題提出することを承認した。

6．会長予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正案〔承認〕
一部改正案について、原案どおり承認した。

7．物品購入並びに会館の増設改修の決裁に関する内規の一部改正案〔承認〕
一部改正案について、原案を一部修正の上で承認した。

8．医療トラブル・医療事故報告書様式の変更〔承認〕
原案の文言を一部変更して承認した。

9．日本学校歯科医会「学校歯科医生涯研修制度」における基礎研修・更新研修の受講者推薦〔承認〕
学校歯科委員会の河原委員長と石井副委員長を受講者として、推薦することを承認した。

10．協議事項：

11．監事講評：
中嶋監事より「来年は戌年ですので、役員の皆様にはワンランクアップの活躍を期待しております。」との激励があり、西野監事より「理事会で発言する際には、要点を絞り簡潔に述べてください。」との要請がなされた。

12．閉会：小島副会長

（広報　竹下 憲治）

荒尾市歯科医師会

久しぶりの受賞＆祝賀会

― 日歯会会長表彰受賞祝賀会 ―

12月１日（金）ホテルヴェルデにて福嶋荒歯会顧問の日歯会会長表彰受賞祝賀会が行われた。

本会からは北野顧問の受賞以来なので実に約15年ぶりであり、また当日は寒さも厳しくなり始めた中ではあったが、受賞を祝うために多くの会員が参集した。

まず田中会長から福嶋顧問の略歴、実績紹介と祝辞のあと、記念品贈呈と続き、挨拶を頂戴した。

授賞式出席のため、全国歯科保健大会（富山開催）まで出向かれた先でのエピソードを皮切りに、本会での会長職２期４年にわたるこれまでの取り組みを回顧され、最後にこれからの抱負を語られた。全体を通して福嶋顧問の人柄が伝わるコメントであった。

受賞おめでとうございます。

その後は坂田光輝顧問の発声で乾杯、祝宴となった。

本会会員のみでの祝賀会となったが、普段から福嶋顧問と交流をもっている会員が多い分、特に余興を企画する必要も無く終始歓談で盛り上がった２時間であった。

（坂田 輝之）

荒尾市・玉名郡市歯科医師会

意見交換の場は継続される

― 荒尾市・玉名郡市合同役員連絡協議会 ―

12月８日（金）午後７時より、福岡県大牟田市の「一路」にて合同役員連絡協議会が行われた。

これは荒歯会・玉歯会の役員が１年に１回、荒尾または玉名に集まり（今年は荒歯会が幹事）、会の運営、事業活動等に関する意見交換および親睦をはかる目的で行われている。

会議は田中荒歯会会長、髙﨑玉歯会会長の挨拶に続き、双方から提出された下記の議事に関して協議・意見交換が行われた。

（玉歯会より）

・骨吸収抑制製剤関連顎骨骨髄炎予防のための連携用紙

・公立玉名中央病院との医科歯科連携の取り組み

（荒歯会より）

・医科歯科連携、多職種連携における両歯科医師会の協力体制

４つの協議題で意見交換が行われた

・玉名市国保特定健診受診率向上のための施策

会議終了後の懇親会、２次会では例年通り、役員相互の意見交換・親睦が更にはかられ、このように隣接する地区の歯科医師会相互で意見交換をする場を持つことは非常に有益であり、様々な面で交流のある荒歯会、玉歯会の関係は今後も良好に続いて行くであろう。

（坂田 輝之）

玉名郡市歯科医師会

医科歯科連携　着実に！

― 臨時総会・忘年会 ―

12月14日（木）午後６時30分より「司ロイヤルホテル」において平成29年度臨時総会・忘年会が行われた。髙﨑会長の挨拶から始まり、２期４年にわたり玉歯会の発展のため貢献された森前会長に記念品贈呈が行われた。議長に森会員、副議長に鳴尾会員が選出され、会務、各郡市会長・専務会議、代議員会、評議員会、国保組合会などの報告があった。

議事では、前年度の一般会計決算、共済互助会、連盟、KDMUの決算報告、質疑応答の後それぞれ決算が承認され、会計監査報告が行われた。

協議では、「第７次保健医療計画の概要説明」「骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に関する医科歯科連携文書、情報提供書」「がん連携文書の返答書」「会員旅行」など説明がなされた。髙﨑会長からも医科歯科連携の重要性について述べられ臨時総会は無事終わった。

議事はすべて承認された

その後忘年会会場に席を移し、お酒を酌み交わし１年を振り返りながら楽しく歓談し、会員皆の健康、歯科の明るい未来を望みつつ盛況のうちに終宴となった。

（冨永 浩義）

人吉市歯科医師会

奥様方も参加され華やかに

― 新年会 ―

１月12日（金）午後７時より新年会が、清流あゆの里で開催された。

開会の前に皆で記念撮影を当ホテルスタジオで行った。今回は、会員15人と奥様方が４人出席され、２人の女性会員と伴に会が華やかになった。

その年又は前年度のお祝いを兼ねて行っており、今年喜寿の那須会員、武末憲一会員、還暦の御手洗会員、愛甲会員、前年県学校保健功労表彰の武末和貴会員、前会長感謝状贈呈の與田会員の６人のお祝いだった。中原会長の挨拶、お祝い品贈呈に続き、新入会（再入会）の新名会員へ人吉市歯会の白衣が渡された。そして、熊埜御堂会員の乾盃の発声によりいよいよ宴会が始まった。食事と歓談の途中、お祝いを受けた会員方からお礼の言葉があり、その後出席者には知らされていなかった当ホテルマンによるサプライズテーブルカードマジック（会長からのお年玉）が始まり、出席者、皆、興味津津！テレビで見るような高度なカードマジックに、えっ！なんで？ウソー！マジ？の連発。30分程のマジックの最後に当日誕生日だった会長にトランプマンより逆サプライズのバースデープレゼントがあり、会長も何で僕の誕生日を知ってるの？と目を丸くしていた。マジックが終わり、毎年恒例のビンゴゲームにより、お年玉プレゼントを全会員貰った。又、女性方には会員の奥様が作ったアートキャンドルのプレゼントもあり、大変喜ばれていた。

マジックに釘づけ

開宴から２時間半が過ぎ、今藤隆文会員の万歳により終宴となった。

今年最初の会員の顔合わせ、楽しい時間を過ごした。

（愛甲 徹）

リレー投稿 14

人工透析

熊本市　鈴木 憲久

わたしは、人工透析患者である。

末期性腎不全、即ち１日おきの人工透析処置を行わないと、生きていることが出来ない。病気と言うのは世の中に数多くあり、様々な闘病をされている方も多いだろう。しかし、この腎不全・人工透析は、自分が罹患したくない病気の筆頭に上げられるのではないか。

月、水、金の週３回、１回４時間ないし５時間の人工透析が命続く限り終わることなく繰り返される。透析になったら社会的に死んだも同じ、そう思う方は多いのではないか？

事実、わたしもそう思っていた。

重度糖尿病や何らかを原因とする腎不全により、透析の導入を宣言される、死刑宣告にも似た絶望を感じる方も多いだろう。しかも、生きている限り病院と自宅を、不調を訴える身体を抱え、往復し続ける、死ぬことも出来ない病気だ。

残りの人生に、絶望する。

だが、そうではない。

人工透析には様々な方法がある。

指定曜日午前中に行なう通常透析、午後から夜間にかけて行なう夜間透析、病院に宿泊し深夜から朝まで行なう通夜透析、そして、自宅に透析機を設置し、自ら管理処置する在宅血液透析である。

わたしが選択したのは、この在宅血液透析であった。

基本は月、水、金、土または日の週４回、１回５時間で週20時間。施行時間帯はほぼ任意。

機器のセッテイング、プライミングと呼ばれる血液回路のセッティングから、穿刺と呼ばれる血管に針を刺しラインを取ることはもちろん、除水や透析速度の調整まで、全て自分および、登録された家族の介補者だけで行なう。通院は検査のため月に２回である。

処置中は特に行動に制限はない。一定の場所から動けないことを除けば何をしていてもいい。座って出来ることであれば、何でもできる。

レセプトの整理をし、依頼原稿を書き、論文を読み、写真の現像をし、SNSでコミュニケーションを取る。本も読めれば、映画も見れる。

診療は通常通り、母校大学での非常勤講師も継続、歯科医師会の委員も継続、加えてSNSで知り合った知り合いの間で、事実上の副業となった芸術活動も行っている。

大学への出張と副業の出張、旅行の際には臨時透析という旅行先の病院で一度、あるいは数回臨時に透析を行なう方法もある。

以前より、明らかに忙しくなった。

人工透析を始めることは、半分死人になる事ではない。

そして、人工透析患者は気の毒でもない。

罹ってしまった病気を嘆いても仕方がない。

これから何ができるか？の方がはるかに重要なことだと思う。

わたしは、このような活動を続ける事で、同じ病気に悩む人たち、あるいは異なる病気に悩む人たちの一筋の希望となることは出来ないだろうか？

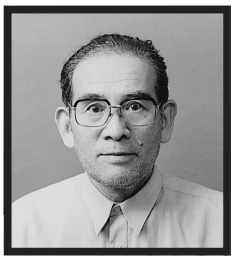
病気なんかで、絶望してたまるか、と。

今は、そんな事を考えている。

次回は、熊本駅前矯正歯科クリニックの上村祐希会員にリレーします。

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



武久　省二 先生
平成29年12月７日　ご逝去　91歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：昭和44年５月22日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第２種会員

吉永　義優
（ヨシナガ　ヨシマサ）

宇城市松橋町浦川内824-8

吉永歯科医院

①総義歯と咬合。
②治療終了後に患者さんが納得できる診療。
③向上心に満ちている。
④多くのことを学んで、人間的にも成熟した歯科医師になりたい。

会　務　報　告

自　平成29年11月17日
至　平成29年12月25日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	11月21日	県からの熊本地震検証についての報告	浦田会長、牛島専務理事
		第３回副会長会議	浦田会長、小島・渡辺・伊藤副会長、牛島専務理事
		第７回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）後援名義の使用依頼 （３）「東部スポーツふれあいフェスティバル」バレーボール大会への協力依頼 【議　　題】 （１）第11回熊本県医療・保健・福祉連携学会の賛助金 （２）平成30年度総務の事業計画（案） （３）平成30年度各委員会事業計画並びに予算（案）　ほか	浦田会長他西野監事を除く全役員
	23日	第27回日本産業衛生学会全国協議会シンポジウム（高知県民文化ホール）	牛島専務理事
		第12回熊本顎変形症研究会懇親会（アークホテル熊本城前）	伊藤副会長
	24日	月次監査 （１）10月末会計現況監査	中嶋監事
	25日	「中国・四国」「九州」地区役員連絡協議会（ホテルニューオータニ佐賀）	浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事、椿常務理事、澤田事務局長
		月次監査 （１）10月末会計現況監査	西野監事
		鹿児島大学歯学部創立40周年記念式典・祝賀会 （鹿大医学部鶴陵会館・鹿児島サンロイヤルホテル）	小島副会長
		第14回城南五郡市連絡協議会（肥後銀行天草支店）	田上常務理事
	27日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局熊本事務所）	椿常務理事
		第３回財務検討臨時委員会 （１）終身会員となる条件の見直し	菅原委員長他全委員、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、竹下理事
	28日	故澤田稔会員（八代）告別式弔辞奉呈（八代市）	伊藤副会長
		第９回県地域医療等情報ネットワーク連絡協議会（県医師会館）	浦田会長
		労務管理打合せ	牛島専務理事、八木常務理事
	29日	労務管理打合せ・職員面接	牛島専務理事、八木常務理事
		都道府県事務長連絡会（日歯会館）	澤田事務局長
		歯科時報新社　吉田社長御夫妻慰労会（東京都）	浦田会長
	12月２日	県体育協会「メディカルチェック事業」に係るメディカルチェック及び関係会議 （熊本市医師会ヘルスケアセンター）	渡辺副会長、歯科衛生士１名
		神奈川歯科大学同窓会県支部忘年会（アークホテル熊本城前）	浦田会長
		新樹会望年会（ホテル日航熊本）	渡辺副会長
	３日	第63回県三師会親善剣道大会懇親会（メルパルク熊本）	牛島専務理事
	６日	第794回支払基金幹事会（支払基金）	浦田会長
		第11回常務理事会 （１）平成30年度年間行事（２）会議室に利用目的が懇親会である場合の許可の諾否 （３）業者からの産業廃棄物及び貴金属スクラップ回収に関する業務協力　ほか	浦田会長他小島副会長を除く常務理事以上役員
	８日	職員冬期手当支給式	牛島専務理事
	９日	九州歯科大学県同窓会忘年会（アークホテル熊本城前）	伊藤副会長
	11日	第17回警察歯科医会全国大会実行小委員会	浦田会長、小島・渡辺副会長、牛島専務理事、八木・椿常務理事、竹下・宮井・井上・宇治理事
	12日	中小企業等グループ補助金に関する吉永会計士との打合せ	牛島専務理事
		中小企業等グループ補助金事業実績報告書に係る説明会 （１）事業実績報告書の提出に関する説明 参加者：12名	小島副会長
	14日	日本メディカル㈱との打合せ	渡辺副会長、八木常務理事
		第３回選挙管理委員会 （１）会長予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正	山口委員長他田中委員を除く全委員、渡辺副会長、牛島専務理事
	15日	会計打合せ （１）Ｈ30年度予算打合せ	八木常務理事
	17日	九州大学歯学部同窓会県支部忘年会（KKRホテル熊本）	浦田会長
	20日	第12回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）平成29年度第２回九地連絡協議会の提出協議題 （３）平成29年度第26回中規模県歯科医師会連合会の提出協議題　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	21日	月次監査 （１）11月末会計現況監査	中嶋監事
	22日	月次監査 （１）11月末会計現況監査	西野監事
	25日	第91回日本産業衛生学会加藤貴彦企画運営委員長来館	浦田会長、牛島専務理事
		支払基金審査委員懇談会（熊本ホテルキャッスル）	浦田会長
学　術	11月17日	学術委員会 （１）Ｈ30年度事業計画・予算（２）Ｈ30年度講演会内容の検討	井上理事、馬場委員長他３名
	22日	都道府県学術担当理事連絡協議会（日歯会館）	井上理事
	12月３日	歯科衛生士対象学術セミナー講師打合せ（森都心プラザ） ２／25開催「歯科衛生士対象学術セミナー」講師：本田貴代氏との打合せ	井上理事

所管	日付	摘要	出務者
社会保険	11月24日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	椿常務理事、田中理事、桐野委員長他全委員
	25日	社会保険個別相談会 相談者：１名	桐野委員長他３名
	12月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：２名	田中理事
	14日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	井口・野田副委員長、今﨑委員
	16日	社会保険個別相談会 相談者：１名	桐野委員長、橋本副委員長他２名
	22日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）点数改訂説明会	椿常務理事、田中理事、桐野委員長他13委員
地域保健	11月18日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔天草郡市〕（天草市民センター）	天草郡市歯会会員
	22日	県健康づくり県民会議（ホテル熊本テルサ）	渡辺副会長
		第２回県へき地保健医療対策に関する協議会（ホテル熊本テルサ） （１）第７次県保健医療計画案	赤尾理事
		笑顔ヘルＣキャンペーン反省会 （１）笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベントの反省	渡辺副会長、竹下・赤尾理事
	12月５日	後期高齢者歯科口腔健康診査事業打合せ（熊本市）	牛島専務理事
	７日	県歯科保健医療計画打合せ	田上常務理事
	９日	生活歯援プログラム歯科衛生士向け研修会（八代市） （１）生活歯援プログラムの概要・実施方法　受講者：14名	渡辺副会長、赤尾理事、郷原委員長他３委員
	22日	第２回国民健康保険運営協議会（ホテル熊本テルサ） （１）県国民健康保険運営方針（素案） （２）国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率の算定方法（案）	田上常務理事
広　　報	11月17日	広報小委員会 （１）会報12月号第２校校正（２）今後の会報作成等日程	竹下理事、永廣委員長他３委員
	12月６日	広報委員会 （１）会報１月号編集・第１校校正	竹下理事、永廣委員長他全委員
	15日	広報小委員会 （１）会報１月号第２校校正（２）今後の会報作成等日程	竹下理事、永廣委員長他２委員
学校歯科	11月28日	県健康づくり推進学校表彰審査会	渡辺副会長
	12月13日	日学歯広報委員会（日歯会館）	大林理事
	20日	第11回日学歯理事会（日歯会館）	大林理事
医療対策	11月20日	医療対策小委員会 （１）医療事故事例の今後の対応	永松理事、岡田委員長他１委員
		医療対策小委員会 （１）抜歯時の同意書	添田委員他２委員
	21日	医療対策小委員会 （１）医療事故事例の対応協議	永松理事、岡田委員長他１委員
	25日	医療対策講演会 講師：福岡聰一郎弁護士　　受講者：94名	八木常務理事、永松理事、岡田委員長他全委員
	27日	医療相談	永松理事、岡田委員長他３委員
	29日	医療対策小委員会 （１）日常臨床と法改訂作業	永松理事、岡田委員長他３委員
	30日	医療相談	永松理事、岡田委員長他２委員
	12月８日	医療相談	永松理事、岡田委員長他１委員
	13日	医療相談	永松理事、岡田委員長他２委員
	20日	医療対策委員会 （１）事例報告検討（２）日常臨床と法、各種報告書及び同意書の改訂 （３）委員提出協議題	永松理事、岡田委員長他全委員
		医療相談	永松理事、岡田委員長他３名
センター・介護	11月18日	“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第３回） 講　師：聖隷クリストファー大学 柴本勇教授　　受講者：39名	小島副会長、田上常務理事、松本理事他７名
	25日	第１回多職種連携研修会（天草地域医療センター） 講　師：筑波大学 紙屋克子名誉教授　　参加者：112名	松本理事、平井委員長、天草郡市竹中副会長
	26日	“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第４回） 講　師：筑波大学 紙屋克子名誉教授　　受講者：37名	松本理事、平井委員長他４名
	28日	県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	小島副会長
	12月１日	県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（KKRホテル熊本）	小島副会長
	２日	“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第５回） 講　師：松本歯科大学 小笠原正教授　　受講者：42名	小島副会長、田上常務理事、松本理事他７委員
	９日	センター・介護委員会 （１）平成29年度委託事業	松本理事、平井委員長他４名
	12日	県復興リハビリテーション活動中間報告会（県医師会館）	松本理事
	16日	“他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第６回） 講　師：東京医科歯科大学 戸原玄准教授　　受講者：40名	小島副会長、田上常務理事、松本理事他５委員
	17日	第２回多職種連携研修会（菊池市） 講　師：東京医科歯科大学 戸原玄准教授　　参加者：135名	松本理事、松岡委員
	19日	第３回県在宅医療連携体制検討協議会（県庁）	松本理事

所管	日付	摘要	出務者
厚生･医療管理	11月22日	熊本国税局管内税務指導者協議会（ホテル・レクストン鹿児島）	宮井理事
	12月12日	厚生・医療管理委員会 （１）就業規則（２）医療管理講演会（３）医療管理だより　ほか	宮井理事、池嶋委員長他全委員
総務･医療連携	11月24日	第19回熊本睡眠呼吸障害研究会幹事会（熊大病院）	伊藤副会長
		第19回熊本睡眠呼吸障害研究会（熊大病院）	伊藤副会長
	30日	県医・保・福連携学会第３回企画委員会（県医師会館）	小島副会長
	12月５日	県がん診療連携協議会幹事会第34回相談支援・情報連携部会（熊大病院）	宇治理事
	７日	総務・医療連携委員会 （１）12／16回復期・１／20がん連携講演会での担当決め（２）現在の連携の状況報告 （３）口腔がん検診	伊藤副会長、宇治理事、三森委員長他４委員
	９日	鹿児島大学歯学部県支部忘年会（熊本市）	宇治理事
	13日	第２回県脳卒中医療推進検討会議（県庁）	伊藤副会長
		回復期病診連携研修会 講　師：ふれあい歯科ごとう 五島朋幸代表　　出席者：82名	伊藤副会長、宇治理事、三森委員長他全委員
	21日	第19回熊本院内感染対策研究会冬期世話人会（熊大病院）	宇治理事
学　　院	12月11日	第４回学院教務委員会 （１）本年度２年生臨床実習組分け（案）及び平成30年度臨床実習計画等（案） （２）「職業実践専門課程」認可に向けた対応	伊藤学院長他全役員、４教務委員
	21日	学院臨床実習反省会 分科会（１）歯科医師グループ（２）歯科衛生士グループ	浦田会長、伊藤学院長、牧・林副学院長、弘中教務部長他
国保組合	11月29日	国保組合保険者全国大会（東京・憲政記念会館）	浦田理事長、守永理事
	30日	九歯連協議会講師との打合せ（熊本城調査センター）	桑田常務理事
	12月８日	全協九州支部事務研修会（福岡県歯会館）	田尻課長補佐、宮﨑係長
		全協九州支部事務研修会意見交換会（福岡市）	田尻課長補佐、宮﨑係長
	15日	第３回国保理事会	浦田理事長他全役員
事 業 課	11月28日	KDMU勉強会	渡辺代表取締役

お知らせ

平成29年度第２回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記のとおり、平成29年度第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成30年３月24日(土) 午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［ 議　事 ］
第１号議案　平成29年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成30年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　平成30年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　平成30年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　一般社団法人熊本県歯科医師会役員等選挙規則の一部改正（案）の承認を求める件
第６号議案　熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）の承認を求める件

［ 協　議 ］
１　時局対策
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意いたしますので、事務局に必ずご連絡のうえご来館ください。

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

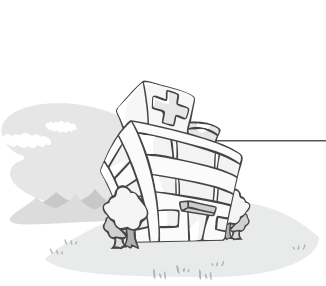
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

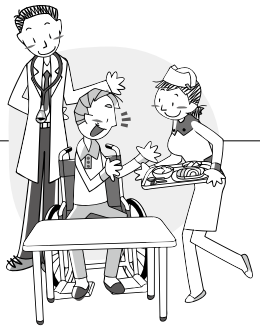
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
February 2018 No.740

笑顔ヘルC

3 主な行事予定 March

3日（土）	国保通常組合会
	県がん患者医科歯科医療連携事業歯科衛生士対象研修会
7日（水）	第17回常務理事会
13日（火）	第11回理事会
24日（土）	第２回臨時代議員会
27日（火）	第18回常務理事会
28日（水）	点数改定説明会（グランメッセ熊本）

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

昨今、北朝鮮の問題やインドが中国全土を射程とするICBMの実験成功、ロシアとスウェーデンの緊張の高まりと、世界は今どこか危うさにつつまれている。

先日、私達家族は『世界青年の船』と言う内閣府が主催する事業に参加するインドの青年と話をする機会があった。

『世界青年の船』とは、世界各地から集まった18歳から30歳までの外国青年と日本の青年が、2ヶ月ほど船に乗りディスカッションや文化交流をする事で、異文化を理解しコミュニケーション力の向上や相互理解を深め、国際化や多様化の進展する各分野でのリーダーシップを育成を目的とする事業だ。

参加するには、論文や日本語や英語の面接など厳しい審査を潜り抜けないといけない。

インドから来た青年との交流で、インドと日本の宗教観の違い、食文化、教育、歴史、また共通点などについて話したり、これまでインドについての固定概念やニュースからの情報とはまた別の視点からインドという国を知ることが出来、とても身近に感じることができた。子供たちもインド人の青年との触れ合いの中で、ヒンディー語の数の数え方を習ったり、地図でインドを探したりと、興味を持ってくれた。まだ幼い子供たちだが、色々な国の人に出会ったり、異文化に触れる事で頭の中の『世界のジグソーパズル』を繋げていってほしい。

今回、青年が話した中で素晴らしい言葉があった。『私達はみんなそれぞれ別々の枝で、それぞれの別々の方向へ向かって伸びています。でも同じ根っこから生まれてきた一本の大きな木です。』

私達がしたことは異文化理解の草の根の活動だが、このような小さな活動が、国と国を身近に感じさせ、結果的に国際社会の摩擦が少しでも無くなることを願ってます。きっと平昌オリンピックでも沢山の草の根異文化理解があると思う。

（O・H）

■発行日／2018年2月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷